

福祉サービス第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

社会福祉法人 和歌山県社会福祉協議会

②評価対象事業所

名称：おもと園	種別：就労継続支援B型事業・生活介護事業
代表者氏名 園長 杉谷 修	定員（利用人数）：40名（39名）
所在地：和歌山県有田川町長谷川321-1	
TEL：0737-32-2370	HP： http://omotoen.web.fc2.com/omoto.html
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 昭和58年6月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人おもと会	
職員数	常勤職員 8名 非常勤職員 7名
専門職員	(社会福祉士) 1名 (介護福祉士) 2名
	(介護支援専門員) 2名 (調理師) 3名
施設・設備の概要	作業室3か所 定員 就労B24名 生活介護16名、 (設備等) 支援室、洗面所、医務室、トイレ、事務室、食堂

③理念・基本方針

【理念】

利用者様が主人公として生活するために、共に生き、共に暮らし、共に支え合い豊かな地域生活が送れるように支援します。

【基本方針】（行動指針）

利用者様の支援を追及する中で、支援の「基本とは何か」「普通とは何か」をテーマに職員の研鑽をはかっていきます。

個別支援計画に基づき、利用者様一人ひとりが充実した生活が送れるように生活の質の向上を目指し、自己選択、自己決定の中から豊かな地域生活となるように支援します。

④施設・事業所の特徴的な取組

平成28年度より外部有識者による施設福祉オンブズマン制度を導入し、年2回調査を実施している。チェック内容は、支援状況や施設運営状況を確認、悪いところの指摘をするということだけでなく、職員と一緒に改善すべきところをどのようにしていくか等、意見交換をしたり、利用者からの要望等を聞いてもらい、施設運営に生かしていくということを目的に取り組んでいる。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成29年6月28日（契約日）～ 平成29年11月22日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	受審なし（今回が初めて）

⑥総評

◇特に評価の高い点.

1. 事業所の生活介護及び働く場の楽しく生きがいの持てる工夫として、利用者の夢あるアート活動に重点をおき美術工芸の創作できる場を提供し、積極的に展覧会への出展を促している。そのことで利用者と職員の連携と職場の明るい雰囲気を作り出している。
2. 利用者が安心して施設を利用するため、施設福祉オンブズマン制度及び行動障害指導員等外部の第三者助言の支援を図り、積極的なサービスの質の向上に努められている。
3. 職場には、各所に5S（整理・整頓・清掃・清潔・習慣）がわかりやすく掲示され、また、安全・安心の環境改善のためのヒヤリハット（事故防止対策）を導入するなど、今後の事業所の体制改善が期待できる。

◇改善を求められる点

1. 法人の前役員や前園長が関わる未解決のレストラン事業などの課題があり、事業所として苦渋の運営となっているようであり、引き続き誠実・公明正大に対応することで、利用者・家族からより一層の信頼を得られるよう期待したい。
2. 開設以来34年がたち建物の老朽化が目立ってきているように思える。今後ハード面の整備が必要と考えるが、就労継続B型事業の運営等も考慮しながら利用者主体の支援にもとづき取り組まれていくことを望みたい。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業者のコメント

今回の第三者評価を受けて、これまでの取り組みが評価され自信を得る事が出来ました。しかし、「質を追求する福祉」を目指していくために、今後も継続して職員の資質向上に取り組んでいくと共に、残された課題についても解決に向け早急に取り組んでいきたい。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

第三者評価結果（おもと園） 【共通評価基準】

I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		評価結果
1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a
判断した理由・特記事項等		
新年度、全職員対象に理念・基本方針のマニュアルを配布し研修が行われ、また、職員会議や内部研修でも、適時、周知が図られている。		

I-2 経営状況の把握

I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		評価結果
2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a
判断した理由・特記事項等		
地域福祉サービスのニーズや潜在的な利用者の推移など事業経営を取り巻く環境変化の把握に努められている。例えば、相談支援事業所、支援学校等関係機関等と連携し情報交換されている。		
3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a
判断した理由・特記事項等		
施設長・サービス管理責任者・事務長会議において、経営課題及び経営状況を確認する中で、具体的な経営改善に向けた検討が行われている。		

I-3 事業計画の策定

I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		評価結果
4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a
判断した理由・特記事項等		

	中・長期のビジョンを明確にした計画が具体的に策定され、有田圏域における施設の役割、サービスの向上、人材育成等の改善を図るために取組まれている。	
5	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a
	判断した理由・特記事項等	
	中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定され、数値目標や具体的な成果等を設定するなど、実施状況の評価が行える内容となっている。	
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		評価結果
6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a
	判断した理由・特記事項等	
	事業計画は、各事業担当者により、評価の結果にもとづいて見直しがなされ、サービス管理責任者会議・全体会議・班会議等を通して協議されている。	
7	② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	a
	判断した理由・特記事項等	
	事業計画の主な内容について、事業目標及び平均工賃等をわかりやすく掲示し、また、保護者との懇談会等においても説明され、周知に努められている。	
I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組		
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		評価結果
8	① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a
	判断した理由・特記事項等	
	福祉サービスの質の向上に向けた取組みとして、自己評価を年1回実施されている。また、施設福祉オンブズマン制度を取り入れ年2回に分けて施設内環境を第3者の目で客観的に評価する体制をとり、利用者サービスの質の向上に取組まれている。	
9	② 評価結果に基づき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a
	判断した理由・特記事項等	

自己評価結果から明確になった課題について、職員会議で改善策や改善計画等の協議が行われている。また、施設福祉オンブズマンより、施設長及びサビ管が講評を直接、受け、職員会議の中で共有し対策が取られている。

II 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ

II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		評価結果
10	① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a
判断した理由・特記事項等		
管理者の自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において職員に理解されるように取組まれている。		
11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
判断した理由・特記事項等		
管理者は、必要な研修に参加し、特に労働関係等については、毎月、社会保険労務士の訪問を受け、情報収集をするなど積極的に取組まれている。また、障害福祉関係等については、福祉協会の役員としての活動をする中で、職員に対して遵守すべき法令等を周知させ、また遵守するために研修等への参加を促している。		
II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		評価結果
12	① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a
判断した理由・特記事項等		
法人内に施設サービス向上委員会を設けて、サービス向上に関する課題を検討すると共に、施設内研修、会議等においてサービス向上の取組みについて組織的に指導されている。		
13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a
判断した理由・特記事項等		
管理者は、経営の改善や業務の実効性を高めるために各関係機関との連携を密にし、利用者の確保、経費削減等を具体的に進め、収入の増、業務の改善等、安定した経営へつながるよう努められている。		

II-2 福祉人材の確保・育成

II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		評価結果
14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b
判断した理由・特記事項等		
必要な人材や人員体制に関する考えは確立し、それに基づいた人事管理が実施されている。		
15	② 総合的な人事管理が行われている。	a
判断した理由・特記事項等		
法人の理念・基本方針に基づき研修等で職員に期待する職員像を明確にされている。また、職員とは、施設長等とのヒアリングにより聴き取り、把握した職員の意向・意見や評価・分析等に基づき、改善が取られている。		
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		評価結果
16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a
判断した理由・特記事項等		
各職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータなど、職員の就業状況を把握し職員の時間外労働の解消に努められている。また、採用時の面接で本人の希望に合わせた勤務時間構成の工夫で人材の確保につながっている。職員との個別面談においても心身の健康等の確保について配慮されている。なお、社会保険労務士との顧問契約により、毎月1回事業所で勉強会を実施されている。		
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		評価結果
17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a
判断した理由・特記事項等		
施設内外の研修に積極的に参加し、研修前には参加職員に対してヒアリングを行い、研修において何を学ぶかを話し合われている。		
18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a
判断した理由・特記事項等		
職員の教育・研修に関する基本方針や計画に基づき、法人内研修及び外部研修等の年間を通して実施されている。研修受講後は、研修報告書を提出し、会議等において伝達研修を実施されている。		

19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a
判断した理由・特記事項等		
職員一人ひとりの教育・研修の機会について、新任職員に対しては、OJTを基本とした教育をされている。中堅職員等は、外部機関の研修に参加、専門職研修は、県の強度行動障害研修等に参加されている。また、今年度より、月1回、行動障害者支援のために、外部から専門職のスーパーバイザーにより、アドバイスや指導を受けている。		
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		評価結果
20	① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b
判断した理由・特記事項等		
実習生受け入れマニュアルを作成し、教員免許取得時などの実習生を積極的に受け入れている。		
II-3 運営の透明性の確保		
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		評価結果
21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b
判断した理由・特記事項等		
法人、福祉施設・事業所の理念や基本方針、提供する福祉サービス等、適切に公開され、基本的姿勢を明示されている。また、地域に向けても理念や基本方針、事業所で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布されている。		
22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b
判断した理由・特記事項等		
福祉施設・事業所における事務、経理、取引等に関するルールが明確にされている。また、法人の監事監査や県監査の指導事項に関しては、必要に応じ外部の専門家に相談し助言を得るなど、早急に改善が図られている。		
II-4 地域との交流、地域貢献		
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		評価結果
23	① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	a
判断した理由・特記事項等		

	社会資源の情報提供や地域の行事への参加、また、施設の行事に地域の方が参加するなどの交流が積極的に行われている。	
24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a
	判断した理由・特記事項等	
	ボランティア受け入れマニュアルを整備し、ボランティア受け入れについて積極的に行われている。	
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		評価結果
25	① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a
	判断した理由・特記事項等	
	福祉施設・事業所として、必要な社会資源の関係機関のリストを掲示すると共に、地域の自立支援協議会、部会等において連携を取るシステムが出来ている。また、ケース検討等が必要のある利用者については、相談事業所・学校・行政等関係機関とのケース会議が開催されている。	
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		評価結果
26	① 福祉施設・事業所が有する機能を地域に還元している。	b
	判断した理由・特記事項等	
	施設の機能を生かした事業所の活用として、地域の小学校や支援学校の生徒に施設見学体験の交流及び近隣地域の道の駅でのイベントの協力等、地域の活性化に貢献されている。	
27	② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b
	判断した理由・特記事項等	
	地域の福祉ニーズにもとづく公益的な活動として、支援学校等の生徒の体験利用であったり、グループホームでの体験を無償で実施している。関係機関からの見学や体験などの要請についても柔軟に対応されている。	
III 適切な福祉サービスの実施		
III-1 利用者本位の福祉サービス		
III-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		評価結果

28	① 利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
判断した理由・特記事項等		
利用者を尊重した福祉サービス提供について、職員倫理綱領に利用者を差別せず人権を尊重し擁護する基本姿勢が明示されており、職員研修会においても周知されている。また、職員行動規範に利用者への虐待や身体拘束が禁止事項として示され、虐待防止については、研修会等を通して周知徹底されている。		
29	② 利用者のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	a
判断した理由・特記事項等		
利用者のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供については、職員倫理綱領の職員行動規範に基づき、研修会等を通じて周知徹底が図られている。		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		評価結果
30	① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	a
判断した理由・特記事項等		
利用希望者に対して、理念や基本方針、実施する福祉サービスの内容や福祉施設・事業所の特性等を紹介した資料等を提示し、わかりやすく説明され、施設見学や体験利用などが適切に行われている。		
31	② 福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	a
判断した理由・特記事項等		
サービス開始・変更時の福祉サービスの内容に関する説明と同意について、利用契約書、重要事項説明書には、ルビを打ち説明、利用者の自己決定の尊重の上で、同意が得られている。また、パンフレット等を利用して日課等の説明をされ、複数の職員が担当されている。		
32	③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a
判断した理由・特記事項等		
事業所の変更や家庭復帰された利用者については、利用修了後の相談方法や担当者について説明が行われている。		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		評価結果
33	① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b

判断した理由・特記事項等	
利用者満足の上昇を目的とする取組みについて、食事メニューや行事に関して、利用者の嗜好性や希望が反映できるように努められている。全般的な利用者満足の上昇に関するアンケートは、年1回の実施で検討が行われているが、利用者満足の上昇には至っていないと思われる。	
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	評価結果
34 ① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a
判断した理由・特記事項等	
福祉サービスに関する苦情解決要綱として体制整備されており、利用者や家族が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。また、苦情内容については、受付と解決を図った記録を適切に保管され、苦情内容及び解決結果等は、苦情を申し出た利用者や家族等に配慮したうえで、公表されている。	
35 ② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	a
判断した理由・特記事項等	
意見や相談があった時は、他の利用者や職員に聞かれないように配慮した対応がなされている。	
36 ③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a
判断した理由・特記事項等	
職員は、利用者が相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努められており、利用者アンケートや普段の支援の中で、各業務グループにおいて話し合いの機会を持ったり、個別での相談に対応されている。	
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	評価結果
37 ① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a
判断した理由・特記事項等	
安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制に、ヒヤリハットの活用と5S（整理・整頓・清掃・清潔・習慣）を積極的に進めておられ、その効果として事故発生の予知と安全確保と職場環境の改善に大きく結びつくものと思われる。	
38 ② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	b
判断した理由・特記事項等	

	感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制について、感染症対応マニュアルが整備され、発生時には、マニュアルに沿って対応できる。また、看護師から会議等を通して、感染症についての予防策や日頃からの注意点等を説明され、危機意識も高いと思われる。	
39	③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。	b
	判断した理由・特記事項等	
	災害時における利用者の安全確保について、防災マニュアルが整備され、消防署、警察等と連携するなど、体制をもって避難訓練等が実施されている。なお、食料の備蓄については、日頃の食材を2-3日分多めに備蓄されている。	
Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保		
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		評価結果
40	① 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	a
	判断した理由・特記事項等	
	福祉サービスについて、標準的な実施方法が文書化され、職員には研修等で、利用者の尊重、プライバシーの保護や権利擁護に関わる姿勢などを周知し、それに基づいたサービス提供が実施されている。実施方法についての確認として、最低半年に一度はモニタリングを行い確認し見直しされている。	
41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a
	判断した理由・特記事項等	
	福祉サービスの標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法について、個別支援計画を作成し、利用者・保護者の同意を得て支援を実施されており、半年又は状況により、その都度、モニタリングを実施し、利用者・保護者の同意が得られている。	
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		評価結果
42	① アセスメントにもとづく個別支援計画を適切に策定している。	a
	判断した理由・特記事項等	
	アセスメントにもとづく個別支援計画について、サービス等利用計画書に基づき、個別支援計画を作成されている。アセスメントを基に利用者・保護者・関係機関職員を含め、サービス管理責任者が中心となり担当職員等が入り、個別支援計画を作成し、半年に1回は、モニタリングが実施される。必要に応じて半年以内にモニタリングを実施されこともある。	
43	② 定期的に個別支援計画の評価・見直しを行っている。	a
	判断した理由・特記事項等	

定期的な個別支援計画の評価・見直しについて、最低、半年に1回は実施されている。但し、状況により半年以内であっても、随時実施されることもある。

Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。	評価結果
44 ① 利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。	a
判断した理由・特記事項等	
利用者に関する福祉サービス実施状況の記録について、個々の支援状況は適切に記録され、職員間の情報共有等については、会議等において必ず周知されている。	
45 ② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a
判断した理由・特記事項等	
利用者に関する記録の管理体制について、利用者の支援記録の保存・保管に関する規定及び利用者・家族からの情報開示が求められた場合等、規定に基づき、個人情報の適切な管理が行われている。また、記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。	

第三者評価結果（おもと園） 【内容評価基準】

A-1 利用者の尊重と権利擁護

A-1-(1) 自己決定の尊重		評価結果
A①	① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	a
判断した理由・特記事項等		
利用者の自己決定を尊重した個別支援について、個人に応じた支援計画を立案し、支援に取り組むと共に、利用者の意向を尊重しながら、その気持ちを促すような個別対応が実施されている。		
A-1-(2) 権利侵害の防止等		評価結果
A②	① 利用者の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。	a
判断した理由・特記事項等		
利用者の権利侵害の防止等について、職員は、定期的に内部研修や外部研修を行い、権利侵害防止について周知されている。また、虐待防止マニュアル、基本方針、職員行動規範等を内部研修資料に使っている。なお、業務の振り返りチェックシートを職員全員に実施、分析して研修に活用することで、権利擁護の意識向上を図られている。		
A-2 生活支援		
A-2-(1) 支援の基本		評価結果
A③	① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	a
判断した理由・特記事項等		
利用者の自律・自立生活について、利用者の意向を聞きだし、次のステップへと進めるように個別支援計画、モニタリング等においては、特に丁寧に利用者本人の意向を聞き出せるように支援され、自立に向けた取り組みの一つとして、管理可能な方には自己管理をしてもらい、月末には自律・自立生活の支援について確認される。		
A④	② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	a
判断した理由・特記事項等		
利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段について、個々の状況に応じて、さまざまな方法によりコミュニケーションがはかられ絵カードでの支援を行ったりされている。なお、施設において、発達障害の利用者が増え、職員は障害特性に応じた対応について、研修などで学習をされている。		

A⑤ ③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	a
<p style="text-align: center;">判断した理由・特記事項等</p> <p>利用者の意思を尊重する支援について、サービス管理責任者及びケース担当者を中心に利用者と個別に話をする機会を設けているほか、職員室へは自由に入れるようにしており、常に相談しやすい環境が整えられている。</p>	
A⑥ ④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	a
<p style="text-align: center;">判断した理由・特記事項等</p> <p>個別支援計画に基づき日中活動について、本人の意向等を聞きながら、希望やニーズにより選択できる多様化支援が行われている。</p>	
A⑦ ⑤ 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。	a
<p style="text-align: center;">判断した理由・特記事項等</p> <p>利用者の障害の状況に応じた適切な支援について、行動障害・発達障害等の利用者支援について、職員が専門研修に参加するなど、積極的に利用者支援のための学習されている。職員の研修で得られた行動障害の対応知識を、より実践で生かすために、今年度、外部から行動障害の専門スーパーバイザーに月1回、現場でのアドバイスをしてもらうことで、より実践効果が上げるよう取り組まれている。</p>	
A-2-(2) 日常的な生活支援	評価結果
A⑧ ① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。	b
<p style="text-align: center;">判断した理由・特記事項等</p> <p>個別支援計画に基づく日常的な生活支援について、利用者の嗜好を調査して、献立を立てている為美味しく、楽しみながら食事をすることが出来ている。</p>	
A-2-(3) 生活環境	評価結果
A⑨ ① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	a
<p style="text-align: center;">判断した理由・特記事項等</p> <p>利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境について、毎日の清掃はもちろん、作業場等の整理整頓に配慮されている。</p>	

A-2-(4) 機能訓練・生活訓練		評価結果
A⑩	① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	b
判断した理由・特記事項等		
生活介護の利用者においては、特に健康面を留意し、日々の散歩を日課のなかに取り入れている。また、心のリフレッシュとして音楽療法の講師によるレクリエーションを実施している。		
A-2-(5) 健康管理・医療的な支援		評価結果
A⑪	① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	a
判断した理由・特記事項等		
利用者の健康状態について、看護師と連携しながら適切な健康管理に努められている。		
A⑫	② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	b
判断した理由・特記事項等		
医療的な支援が適切な手順と安全管理体制について、看護師の指導・助言のもとに適切に対応されている。		
A-2-(6) 社会参加、学習支援		評価結果
A⑬	① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	a
判断した理由・特記事項等		
利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習について、買い物、理美容、レクリエーション、遠足等社会参加の機会を多く作り、利用者の社会体験を積極的に進められている。		
A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援		評価結果
A⑭	① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	a
判断した理由・特記事項等		

利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活について、一般就労に向けた取り組みとして、障害者就業・生活支援センターへの登録をするなど、利用者が次のステップに進めるように関係機関とも連携しながら支援されている。

A-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援		評価結果
A⑮	① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	a
判断した理由・特記事項等		
利用者の家族等との連携・交流と家族支援について、サービス管理者・ケース担当職員を中心に定期的に家族と連絡を取り連携を図られている。家族支援については、必要適時に行われているが、保護者自身高齢化しており、保護者会を開催しても参加率が低く苦慮されている。		

A-3 発達支援

A-3-(1) 発達支援		評価結果
A⑯	① 子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	
判断した理由・特記事項等		
(非該当)		

A-4 就労支援

A-4-(1) 就労支援		評価結果
A⑰	① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	a
判断した理由・特記事項等		
利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援について、利用者一人ひとりが安定した作業能力が身につくように、利用者の特性に応じた作業提供をするなどして、持続性や知巧緻性等を高められるように支援されている。また、一般就労に向けては、関係機関との連携をはかって支援をされている。		
A⑱	利用者に応じて適切な仕事内容等となるような取組と配慮を行っている。	a
判断した理由・特記事項等		
利用者に応じた適切な仕事内容等について、利用者の障害特性に応じた支援をしており、作業種の選択肢を多く設定するように工夫されている。また、工賃の支給については支給日には、利用者一人ひとり支給明細書の説明をしながらの手渡し配慮されている。		

A⑱	③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	b
判断した理由・特記事項等		
<p>職場開拓と就職活動の支援、定着支援等について、障害者就業・生活支援センターとの連携されているものの、課題の多い利用者の登録もあり、厳しさがうかがえる。地域の利用者の受け入れについては、積極的に行われている。</p>		